

Varanasi

Varanasi (バラナシ)は、アブストラクトストラテジーゲーム博物館 館長の中島 雅弘によって、2012 年に考案されたアブストラクトストラテジーゲームです。

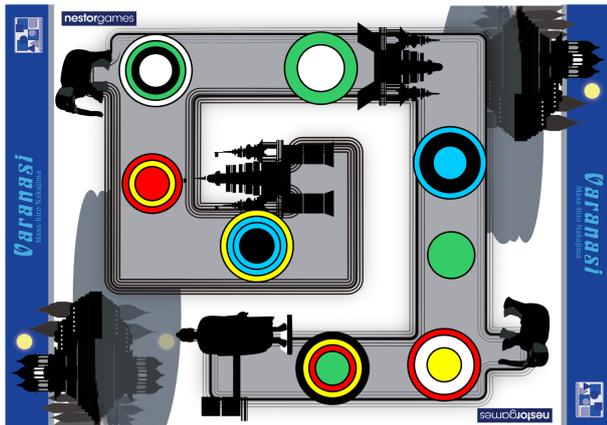
バラナシは、有名なパズル「ハノイの塔」へのオマージュです。パズル性を尊重し、Impartial Game (公平なゲーム)にデザインした、2人~4人で遊べる nim の変形ゲームです。

ボードと駒

- ボード
- 24 枚のディスク (6 色 x 4 サイズ)

ゲームの準備

ディスクを 1~n 枚重ねたものを「タワー」と呼びます。複数枚のディスクでタワーを作るとき、上のディスクが下のディスクより小さくなるように積み上げます。同じ大きさのディスクは、1つのタワーに重ねることはできません。ディスクはすべてタワーにして、プレイヤー全員でボードの線上に適切に配置します。



初期配置の例

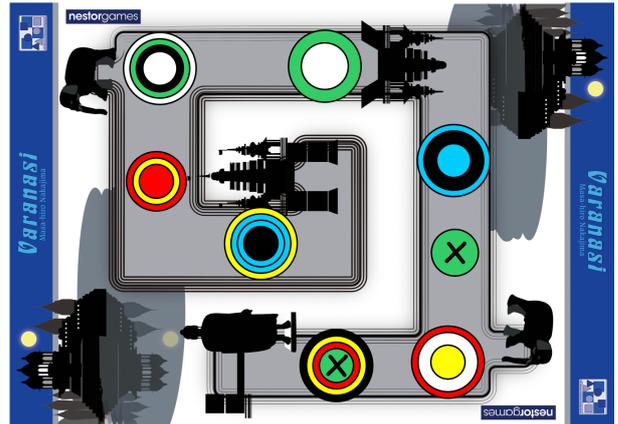
遊び方

プレイヤーは自分のターンで次のどちらかのアクションを取ります。パスはできません。

A. ディスクを取る

ディスクの色を宣言してから、タワーの一番上にあるその色のディスクを全て (1つのタワーからは最大 1枚) 取

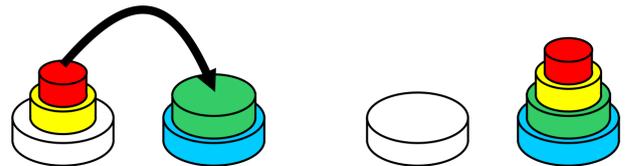
ります。同じタワーから複数回ディスクをとったりしないよう、ボード上の線に沿って、順番にディスクを回収します。



例: Aさんは、自分のターンで「緑」と宣言してから、タワーの一番上にある「緑」(「X」のついたディスク)を全てとります。

B. タワーの移動

どれか1つのタワーを、別のタワーの上部に積み上げます。タワーは丸ごと移動するか、タワーの一部を分離して移動します。ただし、初期配置同様、より大きなタワーの上へしか移動できません。また、移動した先のタワーが、移動元のタワーの高さよりも、高くならなければいけません(同じ高さではダメです)。ボード上のどのタワーを、どのタワーの上に移動しても構いません。



左側のタワー(白・黄色・赤)は、より大きなディスクが下になるよう、また、移動後のタワーが元の高さより高くなるよう、黄色と赤の部分のみを、右側(水色・緑)のタワーの上に積み上げます。

全てのディスクがボード上からなくなったとき、ゲームは終了し、最後のディスクをとった人が勝ちます。

トーナメント・プレー

予め定めた合計得点を誰かが獲得するまで、何回かプレーします。(たとえば、初心者同士であれば、「10点」くらいが適切です)

各回の勝者は、自分が最後にとったディスクの数をその回の得点とし、自分の合計得点に加算してゆきます。(勝者以外、その回の得点は「0点」です。)